

# 遠賀

No.163 2021. 8.25

おんがちょう  
発行／福岡県遠賀町議会

## 議会だより



遠賀川区一斉清掃の日

令和3年6月20日

午前8時30分に各自、担当の場所に行き、捨ててあるゴミや雑草などを、お年寄りから子どもまで総出できれいに清掃していきました。

駅前の通りは、人通りが多いのでペットボトルや食べ物の袋などが、毎日のように落ちていきます。区の皆さんの活動により、町の通りがきれいになりました。

### 6月定例会

条例改正・補正予算など . . . 2

臨時会など . . . 3

一般質問 . . . 4

委員会レポートなど . . . 8

6月定例会は、6月4日から15日までの12日間開催されました。議案は、条例改正、令和3年度補正予算など11件が上程され、慎重審議を行いました。

# 条例改正

国民健康保険税条例の一部改正

(全員一致可決)

長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少した国民健康保険の被保険者に対する税の減免を、昨年度に引き続き実施するため、国民健康保険税の減免対象期間を変更するもの。

▽契約金額

1億6638万円

▽契約の相手方

清水丸源建設株式会社

▽工期

令和4年3月31日

(注) 条件付一般競争入札  
町の競争入札参加資格者で対象工事等ごとに指定する参加要件を満たす業者は誰でも入札に参加できるもの。



老良・上別府線整備工事の予定地

# 契約

(万円未満四捨五入)

老良・上別府線整備工事  
請負契約の締結

(全員一致可決)

曲手排水機場横にある県道につながる橋の工事  
請負契約を締結するもの。

▽入札の方法

条件付一般競争入札

(全員一致可決)

戸切川に架設する橋梁  
工事について、福岡県と

令和3年度実施協定を締結するもの。

▽協定箇所

遠賀町大字別府地内

▽協定金額

6714万円

▽協定の相手方

福岡県知事

▽工期

令和4年3月31日



橋の架設工事が行われる予定地

令和3年度  
一般会計補正予算  
7641万円増額  
(万円未満四捨五入)

(全員一致可決)

第2回・第3回目の補

正予算は、7641万円を増額し、予算規模は87億7794万円になりました。

【主なもの】

職員手当

1430万円

職員一人の退職による退職手当として支給するもの。

消防団員退職報償費

20万円

令和2年度末で退団した消防団員一人分の退職報償金として計上するもの。

工事請負費

495万円

庁舎北側の車庫棟2階の老朽化した空調機を4機、更新するもの。

集団接種執務委託料

1304万円

集団接種実施日の増加により、医療従事者への委託料を計上するもの。

集団接種会場派遣業務委託料

480万円

新型コロナウイルス感染症の影響で、収入が減少した方への減免対策として、減収する保険税を補うための繰出金。

会計年度任用職員報酬

396万円

新型コロナウイルスワクチン予防接種事業のため、令和3年11月まで雇用する会計年度任用職員7名分の報酬額。

子育て世帯生活支援特別給付金

1650万円

新型コロナウイルス感染症の影響により、損害

集団接種会場派遣業務委託料

480万円

集団接種会場の運営サポートを、派遣職員で担うため業務委託料を計上するもの。

11月まで延長となったワクチン接種



11月まで延長となったワクチン接種

国民健康保険特別会計繰出金

400万円

新型コロナウイルス感染症の影響で、収入が減少した方への減免対策として、減収する保険税を補うための繰出金。

新型コロナウイルス感染症の影響により、損害

新型コロナウイルス感染症の影響により、損害

# 発委

遠賀町議会会議規則の一部改正

(全員一致可決)

議員活動と家庭生活との両立支援策をはじめ、男女の議員が活動しやすい環境整備の一環として、議員が活動するに当たり諸要因に配慮するため、育児、介護など議会への欠席事由を整備するとともに、出産については母性保護の観点から出産に係る産前・産後の欠席期間を規定するもの。また、請願者の利便性向上を図るため、議会への請願手続きについて、請願者に一律に求めている押印の義務付けを見直し、署名又は記名押印に改めるもの。

# 発議

新型コロナウイルス感染症と闘う医療従事者等に対し敬意と感謝の意を表する決議

(全員一致可決)

新型コロナウイルス感染症の拡大・長期化により、我が国の医療提供体制は、各地で逼迫ひっ迫した事態をまねいており、さらに医療従事者は、その様な状況のなか、自らの危険も顧みず日々献身的な努力を続け、住民の生命及び生活を守るために闘っている。



ワクチン接種に忙しい医療従事者

よって、遠賀町議会として、医療従事者をはじめ新型コロナウイルス対策

策に携わる全ての人々に  
対し敬意と感謝の意を表  
するため、この決議を提  
出するもの。

# 陳情

永久劣後ローン融資制度の創設を求める意見書の提出に関する陳情

(継続審査)

コロナ禍で廃業・倒産の危機にある中小企業の存続を守ること、中小企業との共存共栄を図る地域金融機関を育てること  
を目的として、全企業に  
対する永久劣後ローン融  
資制度の創設を求める意  
見書の提出について陳情  
するもの。

(注) 永久劣後ローン

通常の融資に比べて返済不能時の返済順位が低い点に加え、元本の返済期限がない企業向け融資制度。永久劣後ローンは金融機関から資本と見なされるため、銀行等から更なる追加融資を受けやすくなる。

また、元本の返済期限が定められていないため、利息を払い続けられ永久に借り続けられるが、融資に対する返済義務はある。

# 委員長報告

委員会の審議の結果、  
・参考人からの説明や質問に対する回答から見えてきた疑問点を各自が調査する時間がなく、議案の添付資料だけでは十分な審議ができない。  
・仮に議案が採択された場合、意見書の内容を吟味しなければならぬ。  
以上2点により、慎重に審議するため継続審査とする。

# 5月臨時会 5月10日開催

# 各委員の選任

## 第一常任委員会

総務課、行政経営課、

企画政策課、税務課、都市計画課、建設課、駅周辺都市整備推進室、議会事務局、会計課の所管に属する事項。

委員長 濱田 竜一  
副委員長 加藤 陽一郎

## 委員

舛添 博孝・萩尾 修身  
平見 光司・仲野新三郎

## 第二常任委員会

産業振興課、住民課、福祉課、健康こども課、教育委員会の所管に属する事項。

委員長 仲摩 靖浩  
副委員長 中野 嘉徳  
委員 萩本 悦子・二村 誠司  
田代 順二・織田 隆徳

## 議会広報常任委員会

議会広報紙の編集と発行、議会のホームページ、議会放映に関する事項。

委員長 田代 順二  
副委員長 仲摩 靖浩  
委員 舛添 博孝・萩尾 修身  
二村 誠司・平見 光司

## 議会運営委員会

議会の運営、会議規則、委員会条例、議長の諮問に関する事項。

委員長 平見 光司

# 6月臨時会 6月30日開催

# 契約

(万円未満四捨五入)

(仮称) 交流センター建設工事請負契約の締結  
(賛成多数可決)

(仮称) 交流センター建設工事請負契約を締結するもの。

## ▽入札の方法

条件付一般競争入札

## ▽契約金額

9億8391万円

## ▽契約の相手方

株式会社松尾組

## ▽工期

令和4年12月28日

# 条例改正

遠賀町手数料条例等の一部改正  
(賛成多数可決)

デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の改正に伴い、遠賀町条例の三つの条例を一部改正するもの。

# 賛否が分かれた議案

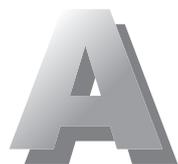
(○：賛成 ▲：反対 欠：欠席)

議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
会議名	議案名	萩本	中野	舛添	萩尾	二村	加藤	(欠番)	田代	仲摩	濱田	平見	織田	仲野
6月定例会	(仮称) 交流センター建設工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	/	▲	○	○	○	○	(議長)
	遠賀町手数料条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	/	▲	○	○	○	○	(議長)

※全員一致の議案は除いています。



## 指定避難所でのペット受け 入れの可否を周知すべきだ



ハザードマップやホームページ、  
チラシ等で周知していく



はぎもと えつこ  
萩本 悦子



ペットについても災害時の救護  
対策が必要だ

### 指定避難所での ペット受け入れ

**議員** 指定避難所でのペ  
ットの受け入れの現状を  
尋ねる。

**町長** 昨年9月の台風10  
号では、中央公民館では  
車庫棟1階の踊り場等を  
指定し、小型犬・小鳥な  
どを受け入れ、ふれあい  
の里ではハムスターを受  
け入れた。

飼育体制では、飼い主  
が責任を持って世話をさ  
れていたとの報告を受け  
ている。

**議員** 災害時、ペットと  
の同行避難は大原則だが、  
指定避難所での受け入れ  
対象とするペットの種類  
と想定する頭数について  
どのように考えるか。

**町長** 受け入れ対象とす  
るペットの種類は、小型  
犬・猫・鳥・ウサギ・ハ  
ムスターなどで、動物愛  
護法に定めている基準を  
満たした施設以外での飼  
育が認められていない鷹

・ワニ・マムシなど、人  
に危害を加える恐れのある  
動物以外のペットを想  
定している。

避難すると想定される  
ペットの頭数については、  
把握していないが、狂犬  
予防法に基づく犬の頭数  
は、令和2年度末時点で  
1181頭となっている。  
**議員** 発災時にどのくら  
いのペットが避難所に避  
難するかを想定すること  
は大きな問題だ。

京都市では、発災時に  
避難が想定される犬・猫  
の数を数式化しており、  
これを本町に当てはめる  
と約170頭の犬・猫の  
避難が想定される。

そこで避難所における  
ペットの受け入れスペー  
スについて、どのように  
考えるか。

**町長** ふん尿による悪臭、  
無駄ぼえによる騒音、毛  
の飛散によるアレルギー  
など、トラブル回避のた  
め、避難者スペースと別  
のスペースを確保する必

要があり、地震や風水害  
などの災害種別や避難日  
数、屋外の天候等によつ  
て確保場所の工夫が必要  
と考える。

**議員** 懸念されるのは、  
全ての指定避難所でペッ  
トの受け入れができるの  
かということだ。

このことについて、ど  
のように考えるか。

**町長** 難しい問題だ。し  
っかり現場等の場所を目  
で確かめ、全ての避難所  
で受け入れができないと  
いうことであれば、受け  
入れのできる避難所のア  
ナウンスは必要と考える。

**議員** 指定避難所でのペ  
ット受け入れの可否につ  
いては平時から住民のみ  
なさんに周知すべきだ。  
このことについて、ど  
のように考えるか。

**町長** 今年、改正するハ  
ザードマップや町のホー  
ムページ、チラシ等で町  
民のみなさんに周知して  
いく。



おだ たかのり  
織田 隆徳

# Q

## 高校生まで医療費助成制度を拡充すべきだ

# A

他の自治体に遅れを取ることなく、あらゆる検討を行う



移住・定住促進と少子化対策として、高校生までの医療費助成は重要だ

高校生まで医療費助成を拡充すべき

**議員** 高校生まで医療費助成を拡充した場合、予算はいくら必要か。

**町長** 総額約1074万円が必要になる。

**議員** 北九州市が来年1月から医療費助成対象を

高校生まで拡充する。本町は、駅南開発など住宅都市としての町づくりを進めており、子育てしやすいと実感できるよう、より環境整備を進める必要がある。高校生まで医療費助成を拡充すべきだ。

**町長** 他の自治体や近隣自治体に遅れを取ること avoided したいと考えているので、さまざまな導入方法や財源の確保を検討する。

2歳児以下の保育料を軽減すべきだ

**議員** 政府が2歳児以下の保育料を非課税世帯のみ無償とした理由は何か。

**健康こども課長** 保育料無償化は、消費税率引き上げによる増収の一部を財源としており、充当する財源不足により2歳以下の保育料のみ非課税世帯に限定した。

**議員** 今回の施策は納得いかない。全年齢を無償化すべきだったと考えるが、町長の見解は。

**町長** 本来ならば、全年齢を無償化すべきだったと思っ

**議員** 国の保育料無償化で本町独自の軽減措置分として不用となる額は、**健康こども課長** 約1225万円

**議員** この財源を活用し、2歳児以下の保育料を更に軽減すべきだ。  
**町長** 本町は、国の基準保育料より軽減を行っており、しばらくは現状で行きたい。

義務教育学校や小中一貫校の導入は

**議員** 義務教育学校や小中一貫校のメリット、デメリットは何か。

**教育長** メリットは、①環境面の変化がなく、学習のつまづき、いじめや不登校、学校になじめないなどを防ぐ②一貫したカリキュラムによるスムーズな学習③小学校から教科担任制を導入し、学習の理解が進みやすいなど。

一方、デメリットは、①人間関係が一度崩れると逃げ場がない②新たな変化へのきっかけが見つけにくい③教員の小学校両方の免許が必要

……など。

**議員** 本町において「義務教育学校」又は「小中一貫校」の導入は、効果があると考えるか。

**教育長** 本町では、これまで取り組んできた小中連携推進教育に力点を置いて教育行政を進めていけば、導入の効果と同様の効果が得られる。



## 消防団員への知識や技術の 習得をもっと推進すべき



### 各種研修や訓練を消防団と連携協 力して実施できればと考えている



はぎ お 荻 尾 おさ み 修身



毎月の定期点検を行っている  
消防団員

#### 地域防災計画にお ける消防団の役割

**議員** 地域防災計画では、消防団は警備班としての任務が託されており、本来の消火活動をはじめ、水防活動、救助・救出活動、避難誘導、行方不明者の捜索、風水害・土砂災害の警戒態勢の任務として、地震情報などの情報伝達、河川・ため池・がけ崩れなどの危険箇所の警戒・巡視、町域の被災情報など、多岐にわたる活動が託されている。

現在、15名の欠員がある。団員の確保について問う。  
**町長** 大規模火災や自然災害時に、より迅速かつ機能的な現場対応を発揮してもらうためには、団員の確保は非常に重要であると考えている。

**議員** 団員の勧誘の方法は何か考えているか。  
**町長** 団員確保の取り組みとして、広報での消防団活動特集の掲載による

募集や幹部会議での個別訪問勧誘による欠員の補充のお願いや必要なチラシ等の作成を行っている。  
**議員** 水防訓練を町独自で行うべきと考えるが。

**町長** 町独自の訓練としては、積み土のう工法や張り工、ゴムボートによる避難訓練の実施を消防団にお願いしたいと考えている。  
**議員** 地域防災計画における消防団の役割について、団員への知識や技術の習得をもっと推進すべきではないか。

**町長** 消防団の役割は、主に災害発生、初動時の消火活動、水防活動、救助・救出活動、避難誘導としており、引き続き消火技術の習熟はもとより、災害状況に応じた各活動に必要な機材等の環境整備を図り、各種研修や訓練を連携協力して実施できればと考えている。

議会での発言に対し、深くお詫び申し上げます。今回の一般質問で「自分の身近な消防団員が、上の人のいじめとさえ言いたい方は悪いんですけど、でも、それによって辞めたというのを聞いておりましたもんですから、そういうこともあるんじゃないか」と思っております」と発言しました。後日、それが本当なのか調査がなされた結果、そのような事実は全くないという調査報告がありました。

荻尾 修身



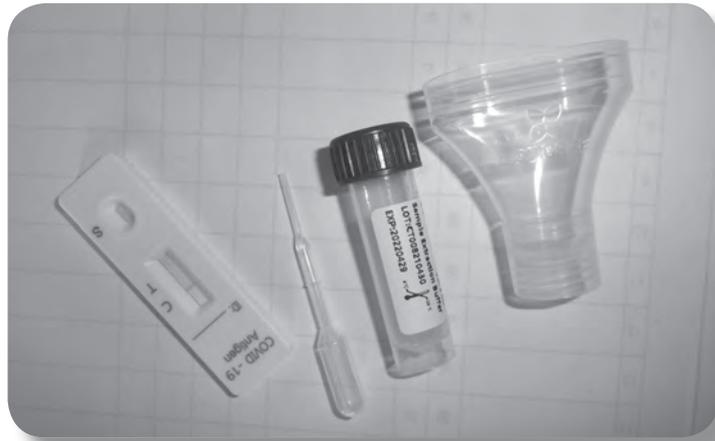
たしろ じゅんじ  
田代 順二



## 政府分科会尾身会長の提言 に沿って抗原検査の実施を



(注)  
高齢者施設等の職員等への頻回検査は県が昨年未から実施している



15分で結果が分かる  
抗原検査キット

### 尾身会長が提言、 抗原検査の活用を

**議員** 政府分科会の尾身会長は、政府に求める対策として、抗原検査キットを活用し、無症状者を含め積極的な検査を実施することをあげている。体調が悪いなどわずかも症状のある人に短時間で結果が出る抗原検査を実施し、陽性であれば同じ職場全体にPCR検査を行う等の手法を併用することを訴えた。

また「ウイルス量が多く他の人に二次感染を起ししやすい人がいる。この人たちをみつけない」「PCR検査より安価で素早く結果が得られる抗原検査を優先的に拡大すべきだ」と提言した。

西村大臣は「抗原検査キット約800万個確保できるので、クラスターの多い高齢者施設や医療機関に、従業者数に応じて5月をめどに配布する

予定」と話している。この提言に沿って、高齢者施設、医療機関、障がい福祉施設の職員・入所者への頻回検査及び保育園、学校等にも対象を拡大して実施出来るよう関係機関と協議すべきではないか。また、町民の希望する誰もが受検できるように出来ないか。

**町長** 政府は分科会の意見をもとにさまざまな対策を講じており、今回西村大臣の抗原検査キット800万個を活用した高齢者施設、医療機関に5月をめどに配布することも、その現れだと考える。高齢者施設等の職員、入所者への頻回検査については、県が昨年未から検査を実施していることは、これまでの一般質問で答えている。

また、県が発出した新型コロナウイルス感染症への今後の対応についても、県等が実施している高齢者施設職員等を対象としたPCR検査事業を活用し、職員の受検を促すことが求められており、4月22日付で町内高齢者福祉施設へ周知を行っている。

なお、県では保育園や学校等は検査の対象としていないことから、本町では新型コロナウイルス感染を予防し、教育、保育の停滞及びクラスターを発生させないため、新型コロナウイルスの優先接種を保育士や幼稚園教諭から開始している。

希望する誰もが検査できるようにお尋ねだが、保健所を有しない自治体のPCR検査の実施主体は県であり、県が検査医療機関の拡大などを医師会等に働きかけ、検査実施機関は増加している。

〔注〕頻回検査とは  
何回も検査すること。  
※この他にも  
「持続化給付金、家賃支援給付金」について質問しました。



## 委員会レポート (タブレット導入調査検討特別委員会)

令和3年6月11日、本町役場大会議室にて、タブレット導入調査検討特別委員会を行いました。

今回の「ペーパーレス会議のデモ」を議題とし、実際にタブレットを使用し、システム会社の担当者と同ラインでつなぎ、説明を受けながら操作しました。

その後の質疑応答では、操作に関する事、便利な機能の利用方法等、さまざまな質問が出ました。実際に使用したことにより、議会運営において、タブレットを導入した場合の大きな流れを理解することはできました。

今後の研究課題としては、他のシステムでの検討、すでに導入済みの自治体ではどのように活用しているのか、どこまで



オンラインでの操作説明

その機能を果たしているのか等の調査が必要となります。

次回以降の委員会では、福岡県内の導入済み自治体を視察し、導入に至るまでの経緯、導入後の効果や問題点を調査し、本町議会においてタブレットを導入した場合の最適なプランを考察していきます。

常任・議会運営委員長、  
副委員長研修会

7月16日福岡市にて、

中村健早稲田大学マニフェスト研究所事務局長が「実体験からの議会活動検証」と題し、住民が条例や計画づくりへ参加することが大切である。例として、小学6年女子児童が、中学校でスラックスをはけるよう議会で意見を述べ、採用が決まったこと等を紹介しました。



27歳で首長経験をもつ中村氏

最後に、行政の「手続き業務」や「許認可業務」はAIにかわるだろう。しかし、民意の集約や議論・決定という過程は、益々、複雑・繊細に求められると講演しました。

### お詫び

6月議会の萩尾修身議員の一般質問において「消防団員がはじめにより退団した」旨の発言があり、その後関係者に調査を行ったところそのような事実はなかったという調査結果が報告されました。消防団の皆さまならびに関係各位に対しまして多大なご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

今後は、このようなことがないよう各議員が自己の発言に責任を持ち節度ある発言を行うよう律してまいります。  
遠賀町議会議長  
仲野 新三郎

### 訂正

※5月25日号3ページ「自動水酸化」は「自動水栓化」の誤りでした。訂正してお詫び致します。

## 次回の定例会は 9月です

詳しい日程は、8月下旬に遠賀町ホームページ (<http://www.town.onga.lg.jp/>) でお知らせします。

本会議の様子は、以下の場所でライブ中継を行います。  
遠賀町役場・遠賀町中央公民館・ふれあいの里センター・駅前サービスセンター  
※遠賀町ホームページからも、視聴することができます。

### あ と が き

ネット社会の現代、政府の調査では、中高生のネット利用率は9割を超えている。ツイッターなどSNSの利用をきっかけに、犯罪に巻き込まれた18歳未満の子どもは年間1800件以上上っている。SNSで知り合った男性に呼び出されてわいせつ行為を受けるなど、被害が多くを占めている。

こうした犯罪に子どもたちが巻き込まれないように対策が望まれる。子どもが不適切な動画やゲームにのめりこまないよう、保護者がネットの利用のあり方について説明し、スマホの購入契約時に特定のサイトの閲覧やアプリの利用を禁止したり、利用時間を制限したりできるフィルタリング機能を設定しておくことが大事ではないだろうか。

平見 光司

### 遠賀議会だより

発行責任者

議長 仲野 新三郎

議会広報

常任委員会

委員長

田代 順二

副委員長

仲摩 靖浩

委員

舩添 博孝

萩尾 修身

二村 誠司

平見 光司